

教科名 家庭

科目 (ファッション造形基礎)

単位数	2 単位	学科・学年・学級	3年A～F組選択者
教科書(出版社)	ファッション造形基礎 (実教出版)	副教材(出版社)等	

1 学習の到達目標

- 1、被服の構成、被服材料の種類や特徴など被服製作に関する知識と技術を習得する。
- 2、ファッション造形の基礎的な能力と態度を育てる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
1 学期	4	ファッション造形基礎を学ぶにあたって			ワークシート・レポート
	5	1章 衣服の構成	1節 人体と衣服	<ul style="list-style-type: none"> ・着心地の良い衣服を作るためには、人体の構造や機能・動作時の変化に対応したゆりみ・体型の変化等を考慮しなければならないことを理解する。 ・縫製に関する基礎的な知識と技術を理解し、資源や環境に配慮した材料の扱い方や工夫する力を身に付ける。 	ワークシート・作品
	6	3章 洋服の製作	1節 製作の基礎 ペットボトルキャップを再利用したピンクッションの製作 マスクカバーの製作		ワークシート・作品
	7		スウェーデン刺繍による小物の製作		夏休みの課題レポート
9	1章 衣服の構成	2節 立体構成衣服と平面構成衣服	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の構造や機能、動作時の変化に対応したゆりみ、体型の変化等を理解した上で、立体構成と平面構成の特徴を知る。 		ワークシート
2 学期	10	3章 洋服の製作 または、 4章 和服の製作	ガウチョの製作 または、 吊るし飾りの製作	<ul style="list-style-type: none"> ・縫製に関する基礎的な事項を理解し、技法を習得する。 	ワークシート・作品
	11				
	12				冬休みの課題
3 学期	1	2章 衣服の素材	1節 衣服素材の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服材料の種類と特徴について理解し、製作する被服のデザインや着用目的に合った衣服材料の適切な選択と取扱いができるようにする。 ・1年間学んだファッション造形に関する知識を応用して、作品を創造する力を身につける。 	レポート・ワークシート
		3章 洋服の製作	こぎん刺しによるコースターの製作		ワークシート・作品

3 評価の観点

関心・意欲・態度	衣服の構成・材料・製作について関心を持ち、衣生活の充実・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、衣服を創造的に製作する態度を身につけることができる。
思考・判断・表現	衣服の構成・材料・製作に関して、自分の嗜好や家族の要求の関連を見つけていることができる。 衣服の製作について自分の考えをまとめ、目的に応じてどのような材料・デザインなどが適当かを判断する力を身につけているか。
技能	衣服の構成に関する実習や製図の実習、材料に関する技能を習得している。
知識・理解	衣服の構成・材料、製作の理論・技術について理解し、衣服を創造的に製作するために必要な知識を身につけている。

4 評価の方法

「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の評価の観点に従い、総合的に評価する。全課題の提出をもって評価対象となります。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・作品を製作する楽しさを味わいましょう。提出することが単位修得につながりますので、提出物の期日は必ず守ってください。
- ・事前に把握している公欠は知らせて下さい。実習中心のため、欠席が重なると授業がわからなくなるだけでなく、評価にも影響します。欠席・公欠・出席停止のは、次回の授業までに昼休みや放課後を利用して作業に取り組むよう心掛けて下さい。

